

1. 公益事業1

次の活動を、昨年に引続き充実させる。

- (1) 日本及び他の東アジアの国々に関する講演会を、概ね月4回開く。
- (2) 日本をより深く理解するため、様々な面からテーマを選び、シンポジウム、講演会等を開く。
- (3) 月報「OAG NOTIZEN」に日本および東洋に関しての小論文、書評を載せ配布する。
- (4) 「シーボルトセミナー」を行う。
- (5) 奈良県立図書情報館との共催で「エンゲルベルト・ケンペル展」を開催する。
- (6) 神社仏閣、庭園、博物館、美術館、及び伝統行事などの見学を行う。
- (7) 国内外の見学旅行を引続き行う。
- (8) 日本の美術に影響を受けたドイツ人、日本人芸術家の展示会、公演を行う。
- (9) 生花、墨絵、書道及び日本語のクラスを開く。
- (10) 日本及び他の東洋の国々に関するドイツ語、英語の書籍の収集を引続き行う。
- (11) 神戸において、関西支部の活動を行う。
- (12) ドイツにおける日本学会に出席する。

2. 公益事業2

上梓企画中の書籍は、次のとおりである。

- (1) リヒトホーフエン： 日本滞在記
ユーディチウム社、ミュンヘン
- (2) シャウヴェッカー： 近松戯曲集
ユーディチウム社、ミュンヘン
- (3) ヘルベルト： やくざと日本社会
ユーディチウム社、ミュンヘン
- (4) シュパング： アルブレヒト・ハウスホーファーの滞日日記
ユーディチウム社、ミュンヘン
- (5) ロコバント： 天皇制
ユーディチウム社、ミュンヘン

3. 収益事業

次の不動産の賃貸を行う。

- (1) ドイツ文化会館4階事務室を、ドイツ観光局、ドイツ学術交流会、ドイツ研究振興協会、フ

リードリヒ・エーベルト財団、廣川明と建築工房、コンラート・アデナウアー財団、ZDF(第二ドイツテレビ)、(株)アイコジャパンに貸す。また1階部分を(株)ヴェルケスに貸す。

- (2) 地下倉庫を、ドイツ観光局に引続き貸す。
- (3) 屋外駐車場を、(株)パートナーに引続き貸す。
- (4) ホールを、ピアノ発表会等に貸す。